

5号機 補助建屋4階における飲料水の漏えいについて

平成 19 年 9 月 21 日

発生号機	5号機（定格熱出力一定運転中） ：改良型沸騰水型、定格電気出力126.7万キロワット
発生日月	平成19年9月21日
状況	午後1時頃、運転員が、補助建屋4階の飲料水タンク室（非放射線管理区域）に、水が溜まっていること（約900ℓ）を発見しました。 状況を確認したところ、飲料水タンクの内面清掃に伴って排水を行う際、排水升（※1）周辺に飛散防止のため取り付けていたビニールシートが外れ、排水升をふさぎ水が溢れたことが判明しました。 午後1時15分に、排水弁を閉止し排水升からの漏えいは止まりました。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
対策	今後、排水時には、ビニールシートの代わりに筒状の囲いを用いて排水升を覆い、飛散防止を行うこととします。
お知らせ基準	「表2-10」に該当します。

※1 排水升は機器からの排水が流れ込む升です。

以上

5号機 補助建屋4階 飲料水タンク排水配管・排水升



排水配管と排水升の間に約20cmの間隔があるため、排水を行う場合は、飛散防止のためビニールシートを取り付けます。



配管に取り付けてあったビニールシートが外れ、排水升を塞いだことにより、排水升から排水が溢れました。